

コンピューターリテラシー 第3回授業の復習 基本的なUNIXコマンド

2011/04/28 作成
栗原正純(電気通信大学)

lsコマンド

- カレントディレクトリに**どのようなファイルやディレクトリがあるかを表示させる** (list)
- オプション: “ - F”
(ディレクトリ名の後ろには “/” が付いて表示される)
- オプション: “ - l”
(ファイルやディレクトリに関する詳細な情報が表示される)

cat コマンド

- 指定した(引数とした)ファイル名の**ファイルの内容がそのまま表示される**
- 複数のファイル名を指定すると、それらのファイルの内容をその順番に**連結したものが表示される**
- 「**ファイルを連結する (catenate)**」という機能がある

more コマンド

- ファイルの内容を **1画面ずつ**表示する
- 続きを**画面単位**で表示したい場合、**スペース・キー**を押す。
- **Return キー**を押すと、次の**1行分**が表示される。
- 表示を**終了**したい場合には **q キー**を押す (q は quit)

less コマンド

- 前のページに戻るなど more を高機能化したもの
- 前の画面の内容を表示したい場合には
b キーを押す
- ただし、演習で使用している Mac OS では less と more は同じ実体であり、機能面での差は全くない。

cp コマンド (copy)

- ファイルをコピーする (複製を作る)
- オプション: “ -i ”
(すでに同じファイル名のファイルがある場合、
上書きしてよいか、確認を求めてくる)

mv コマンド (move)

- ファイル名を変更 する

- オプション: “ -i ”

(すでに同じファイル名のファイルがある場合、
上書きしてよいか、確認を求めてくる)

rm コマンド (remove)

- ファイルを削除する

- オプション: “ -i ”

(本当に、指定したファイル名のファイルを削除してよいか、確認を求めてくる)

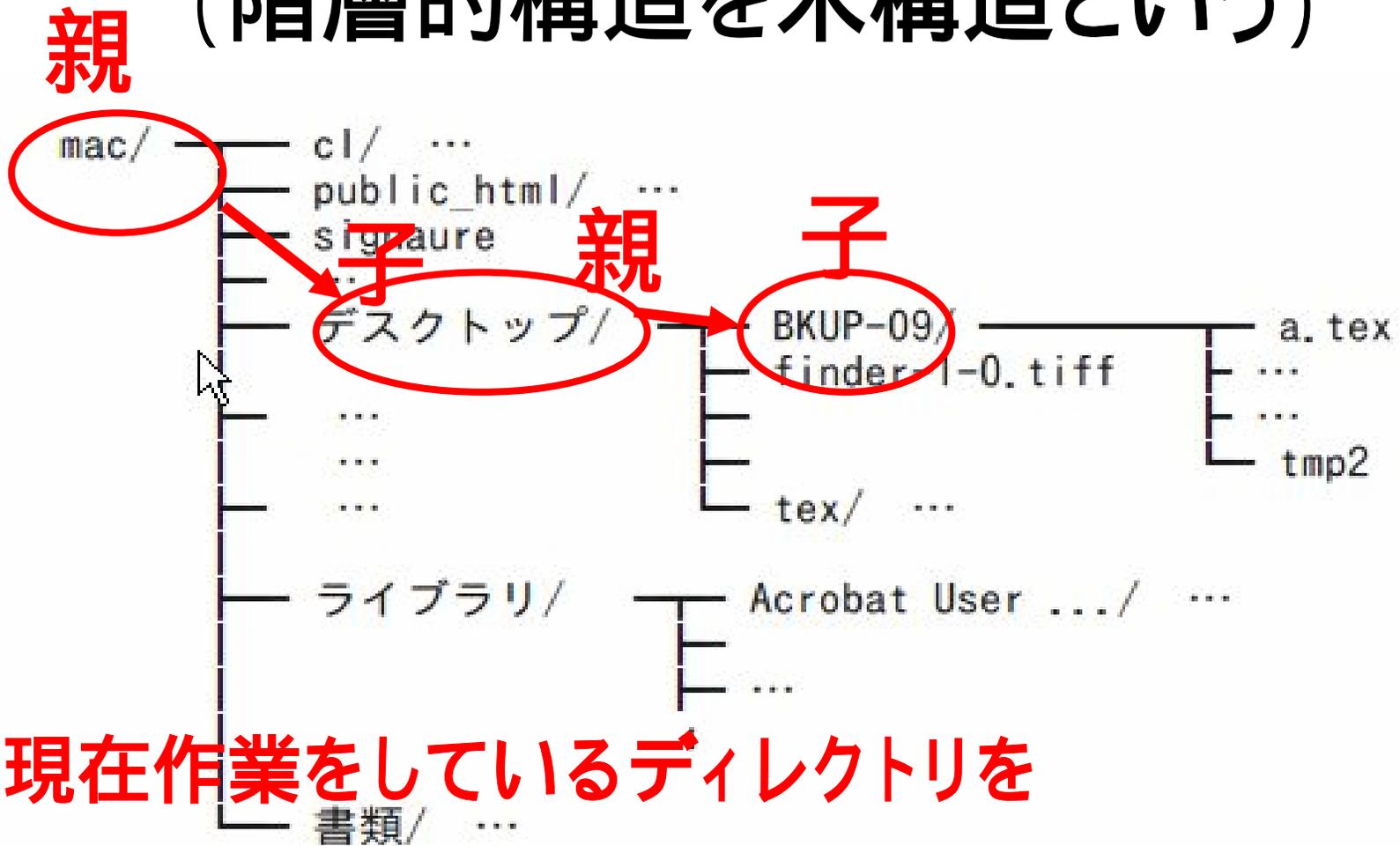
実行履歴を用いたコマンドの入力

- **history コマンド** で確認できるように、過去に実行したコマンドが記憶されている。
- **C-p** , **C-n** を用いると、過去に実行したコマンドを容易に入力することができる
- **C-p** を入力すると、1つ前 (previous)
- **C-n** を入力すると、1つ次 (next)

ファイル名の補完

- **Tabキー**による補完
- コマンド名やファイル名を途中まで入力し、**Tabキー**を押すと、一意に決まるところまで補完される

ディレクトリの親子関係 (階層的構造を木構造という)



現在作業をしているディレクトリを

「カレント ディレクトリ」(current directory) という

pwdコマンド

- **pwd** は “print working directory” の略で「working directory つまり、現在作業をしているディレクトリをプリントせよ」
- 現在どこのディレクトリにいるのかを表示する

cdコマンド (change directory)

- カレント ディレクトリの変更
- 子のディレクトリ(例えば CL/)の方向に進む:

```
cd CL
```

- 親のディレクトリの方向に進む、つまり、戻る:

```
cd ..
```

mkdir コマンド (make directory)

- ディレクトリを作る

rmdirコマンド (remove directory)

- ディレクトリを削除する

以上